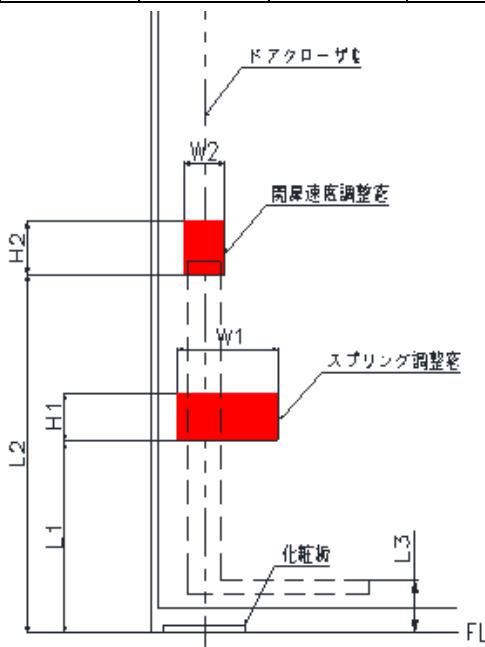


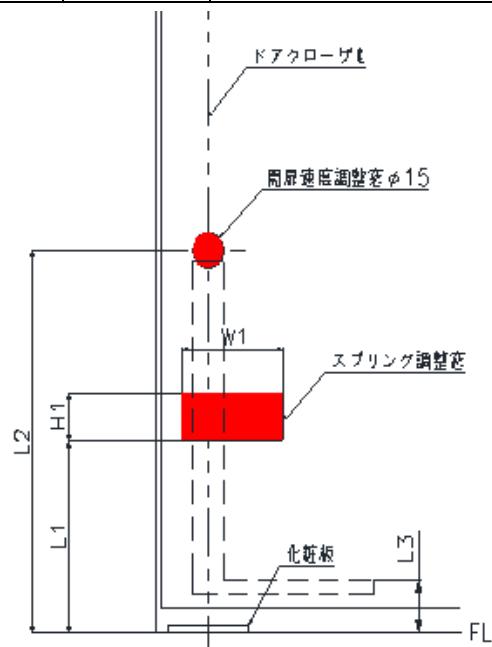
## 旧型オートヒンジ判定方法

下表に旧型オートヒンジの扉切欠き寸法及び現行品の交換対応型式番号を示します。現行品への交換は、扉側のスプリング調整窓、開扉速度調整窓の位置・形状を確認し型式を選定ください。

旧製品 型式番号	スプリング調整窓			開扉速度調整窓			下部 チリ	現行品 交換対応 型式番号	備考
	床面からの高さ		窓形状	床面からの高さ		窓形状			
	L1	H1	W1	L2	H2	W2	L3		
31型	-	-		321	22		24	AFD-8KH-B	交換対応機種 無し 受座の交換が必要。特注対応
32型	181	14	42	299					
33型	27	13	44	291					ドア側に調整窓の追加工が必要
33A型	181		42	299					
34型	33		40	366				AFD-16H-B	特A-16特注品対応又はドア側に調整窓の追加工が必要
35型	184	53	44	499					
36型	375		50	878	10			AFD-22-B	ドア側に調整窓の追加工が必要
36A型	278		44	731	32			AFD-22-B	ドア側の取付穴及び調整窓の追加工が必要
37型	296		56	768	10				ドア側の取付穴及び調整窓の追加工が必要 旧製品の仕様がDW2500、DH2500、DT50 ドア質量250kgのため、AFD-22では閉扉しない可能性有り
37A型		213	54	50	568	25		AFD-30-B	ドア側に調整窓の追加工が必要
A-8,A-8H	182			311			24	AFD-8KH-B	ドア側に調整窓の追加工が必要
A-8K,A-8KH	106			232					
A-10,A-10H		182		311				AFD-12H-B	
A-12,A-12H								AFD-14H-B	
A-14,A-14H		232		351				AFD-16H-B	
A-16,A-16H									
A-18		183	55	55	501			AFD-22-B	
A-22									
A-26								AFD-30-B	ドア取付ネジのサイズ:M6→M8に変更 ドア側に取付穴の追加工が必要
A-30									
A-30H									
A-35							40	AFD-35A-B	高さ調整用のスペーサが必要
A-35A									

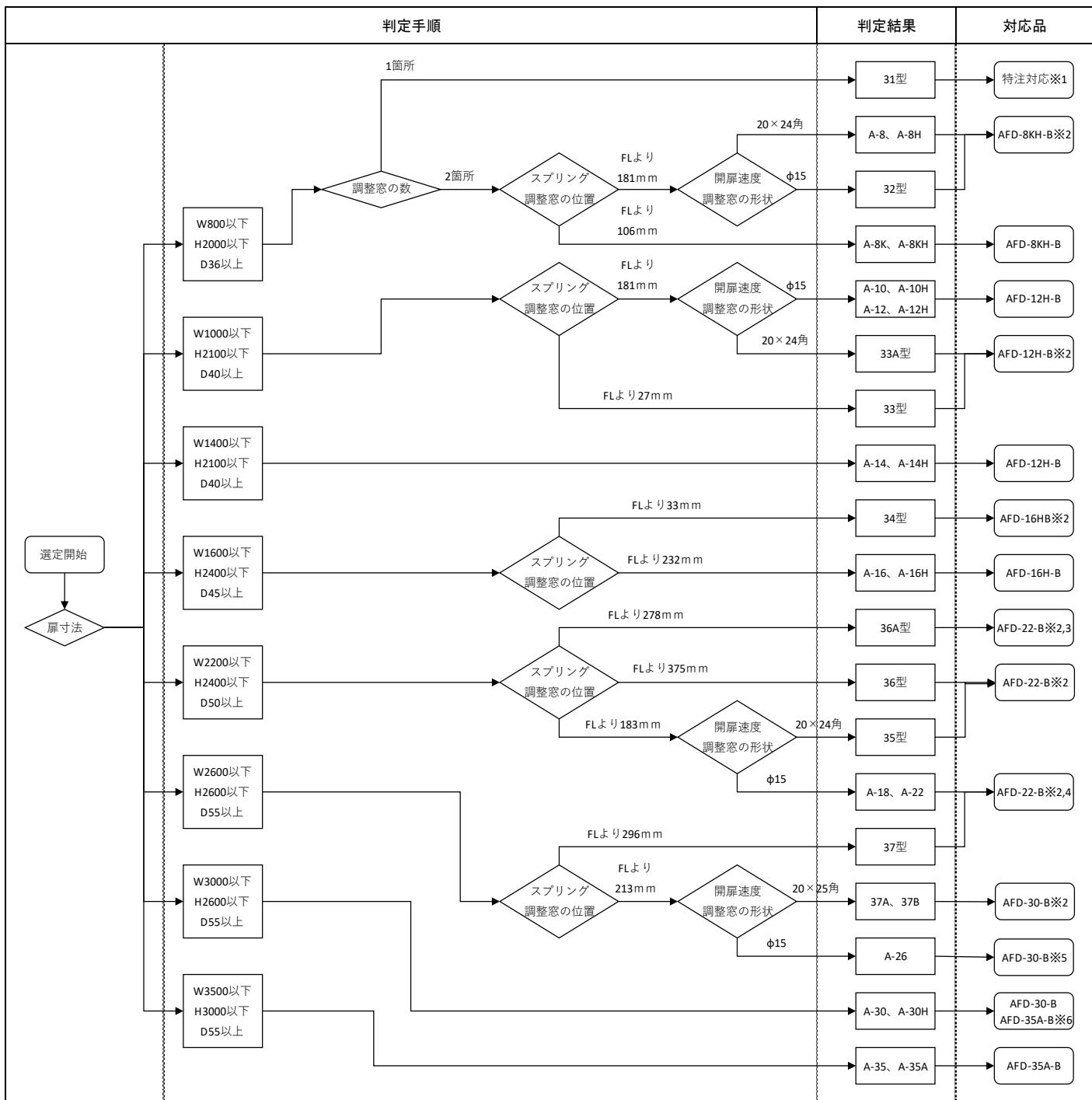


31~37B型



A-8~A-35A

オートヒンジ中心吊型 製品判定フロー



注. ※1. 31型は受座が異なるため、特注品での対応となります。

※2. 置換え時、ドア側に各調整窓を追加で開ける必要があります。調整窓位置はカタログを参照ください。

※3. 置換え時、ドア側に取付穴及び各調整窓を追加で開ける必要があります。調整窓位置はカタログを参照ください。

※4. 37型からAFD-22への置換え時、扉サイズや重量によっては性能が不足し、扉が閉まりきらない可能性があります。

※5. 置換え時、ドア取付のねじサイズが異なります。(A-26:M6X30 AFD-30:M8X35)

ドア側取付穴を追加工してください

※6. A-30とA-30Hは置換え品でサイズが異なります。扉取付状態では判別不可能の為、扉より現品を外し、

▲ 2021.06.03 37型の置換え品をAFD-30→AFD-22に変更する。

△ 2021.09.03 36Aについて取付穴追加工の注記を追記。型式末尾に-Bを追記。